

東洋経済「**住みよさランキング2019**」で、**田原市が愛知県内1位**(全国29位)に輝きました。

「住みよさランキング2019」とは、株式会社東洋経済新報社が、全国812の市と特別区を対象に、“住みよさ”を表す「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の各指標について偏差値を算出し、その平均値を総合評価として順位付けしたものです。

ここでは、中学生や高校生の頃から、すでに将来も田原で暮らしたいと決めていた、田原市内3高校の卒業生、在校生のストーリーをご紹介します。



the story of senior students

ストーリー
先輩たちの
ちよつと

田原で暮らすことを決めた、

「**田原の空気感が好き、だから田原で暮らす**」



卒業生
田原市消防本部
(赤羽根分署)
和田太樹さん

私は田原市外に住むことを考えたことはありません。この田原の空気感が好きだということの他に、今まで、親から一生分の返せない恩をもらったので、これからも親の近くに住んで、今度は自分が恩返しをしていこうと考えています。田原は地域の人のつながりが強く、困ったときには助けてくれるような優しい人が多いのも、田原のいい所だと思います。

高校では部活動の野球が楽しくて、野球部が家族のようなものでした。授業は実習がメインで楽しかったです。渥美農業高校は、自分らしく高校生活を送れる場所だと思います。

「**山が好き、緑が好き、この街が好き**」

田原でこの先も暮らそうと思ったきっかけは、県外に出かけたとき。都会は人が多すぎて違和感がありました。都会では暮らせない、やっぱり田原がいいなと思いました。田舎かもしれないけれど、蔵王山の上から田原の街並みを見るとキラキラ輝いていて、とてもキレイです。

渥美農業高校での授業は、とにかく楽しくて、渥農じゃないとできない授業ばかりです。特に、野菜や果物などを栽培するのが楽しいです。おかげで体力もつきました。

就職は、自動車関連企業に内定をいただいているので、これからも田原で暮らしていけたらと考えています。



在校生
渥美農業高校3年
池田玖瑠美さん

愛知県立
渥美農業高等学校



鈴木尚 校長

渥美農業高校は、農業学習を中心に勉強する専門高校です。農業、施設園芸、食品科学、生活科学の4学科があり、それぞれの学科が専門性を高める学習に取り組んでいます。『やる気 花ひらく』が渥農のキャッチフレーズです。君たちが一生懸命に努力すれば、夢が希望となり、やがて実現します。自然豊かな環境で、農業学習を通して、『生命』の大切さに触れ、『真心』豊かに、のびのびとした素敵な『時間』を過ごしましょう。



和牛の健康観察
(農業科)

製造実習ケチャップ作り
(食品科学科)

愛知県立
成章高等学校

成章高校は、2021年(令和3年)に創立120周年を迎える県内有数の伝統校で、普通科・総合ビジネス科・生活文化科の3学科を併置する全国でも数少ない高等学校です。学習や部活動、学校行事等に積極的に取り組む中で成長を遂げ、卒業生は田原市を始め全国各地の様々な分野で活躍されています。大学進学や就職に強い成章高校で、皆さんも青春の一時を過ごしてみませんか。



木藤政美 校長

「**住みなれた街だから、ずっとここで暮らしたいと思った**」



卒業生
愛知教育大学1年
河合琴音さん

私が、将来も田原で暮らしたいと思ったのは、中学生の頃からです。家族も隣近所の方との仲が良く、人と人のつながりが温かい。田原は住みなれた街、過ごしやすい街だから。今は市外の大学に通っていますが、卒業後はこの地域で就職して、田原で暮らしたいと思っています。

成章高校では弓道部に所属し、インターハイ個人の部で優勝することができました。顧問の先生や仲間がいたから、最後まで頑張ることができた結果です。自分一人では、そこまで頑張れませんでした。成章高校の良いところは、勉強も部活も頑張れるところだと思います。

「**田原の海や山、豊かな自然と人が好き**」

成章高校に入学して、大学への進学を考え始めたときに、その時、自分が将来どこで暮らすのかについて真剣に考えました。田原は、海や山もあり自然が豊かで、都会よりも田原のほうが住みやすいと思いました。何よりも地域の人が優しいです。

中学生の頃、豊橋の高校への進学も考えましたが、やっぱり田原にして良かった、成章高校で良かったです。今はバスケット部に所属していますが、仲間が最高。練習はきついけど楽しさの方が勝ります。将来は大学へ進学し、卒業後は田原で就職したいと考えています。



在校生
成章高校2年
藤井皓大さん

「**ほどよい田舎感、田原の暮らす環境は最高**」



卒業生
渥美福寿園
木戸未来さん

中学生の頃から人を助けられるような仕事に就きたいと考えていたので、福祉実践コースがある福江高校へ進学しました。福江高校で良い友達に出会い、そこから勉強を頑張るようになり、田原福祉専門学校では介護福祉士の国家資格を取得することができました。

私は、大好きな家族と離れて暮らすことは考えたことはありません。修学旅行などで都会に行き、外から田原を見たときに、田原の良さを再認識しました。田原は自然も豊かで農業も盛ん、食べ物も空気も美味しく過ごしやすい。これからもずっと田原で暮らしていきたいです。

「**田原の人はあったかい、地域ぐるみの応援に感謝**」

福江高校で野球部の主将を務めていますが、人数が少ない分、部員の団結力が強いのが特徴です。地域の方々も優しくて、いつも「頑張れ」と声をかけていただき、地域をあげて応援をしてくれています。

高校の授業は、ひとことで言うと楽しいです。先生たちとの距離が近く、分からないところは気軽に聞きに行くことができます。先生が親身になって生徒と一緒に悩んだり、考えたりしてくれるのが、福江高校の良さだと思います。

将来は大学への進学を希望していますが、大学で様々な経験を積んで、卒業後はまた田原に戻り、この地域で就職したいと考えています。



在校生
福江高校2年
楠名朝日さん

愛知県立
福江高等学校



寺田安孝 校長

福江高校は、70年の歴史を誇る伝統校です。美しい自然と魅力あふれる観光資源を生かした観光ビジネスコースと、福祉を切り口として地域で活躍する人材の育成を目指す福祉実践コースを備えており、それぞれホテルでのインターンシップや福祉事業所での実習など特色ある学習活動に取り組んでいます。本校のメリットは、丁寧な学習指導、楽しい学校行事、活発な部活動の3つです。福江高校で学び有意義な高校生活を過ごしましょう!



観光実習(観光ビジネスコース)

介護実習(福祉実践コース)



成章祭でのファッションショー
(生活文化科)

販売実習(総合ビジネス科)